

事業名 CD	0110060401	青少年対策事業
細分化した事業名		武田の里親子ふれあいづくり事業
事業担当課室 CD	500100	教育課
		整理コード*

〈事務事業の位置づけ〉

第6次長期総合計画での目的体系	大項目	将来を担う子どもをのびのび育むまちづくり
	中項目	子どもが夢を持ち続けることができる教育の充実
	小項目	青少年の健全育成と社会参加
関連する個別計画等		根拠条例等
関連する事業		

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	市内の親子を対象に地域や年齢を超えて集い、参加者の豊かな心を育み、市内青少年健全育成の一助とすることを目的として実施する。
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	小学生と親
これまでの改善経過	昭和58年、「武田の里子どもフェスティバル」として開催。11町を周り市内を一巡した。その後は、葦崎中央公園を中心に開催。平成12年度からは、「武田の里親子ふれあいまつり」と改めた。役員・参加者等の意見をふまえ廃止、20年度からは新たに「武田の里親子ふれあいづくり事業」として、年数回の会を実施。
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	〈実施・運営方法〉 <input type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他() 事業は自己負担金を設定し、講師は依頼をし、実施参加者を市内の小中学校を通じて募集した。
事業の成果 (どのような状態にしたいのか) (どのような効果を得るのか)	清哲公民館で開催し、参加した家族が絆を深め、他地域の人々と交流を図る機会となった。また子供達には地域の自然やを学ぶ機会となった。

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		19年度	20年度	21年度
A	事業費 (千円)	251	317	16
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	市債			
	その他			
	一般財源	251	317	16
B	担当職員数(非常勤 職員 E) (人)	0.05	0.07	0.20
C	人件費(平均人件費 × E) (千円)	345	484	1,365
D	総事業費(A+C) (千円)	596	801	1,381
*参考	H21)市民1人当りの事業コスト	43 円	H21)市民1人当りの行政サービス費用	579,596 円

注1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。
 注2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、19年度(6,901千円)、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)を使用しています。
 注3)一般財源とは使途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分りやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			19年度	20年度	21年度
活動指標	子ども参加者数	子どもの参加者数(人)	103	153	34
	親の参加者数	親の参加者数(人)	97	100	30
成果指標	子ども参加率 (算出式数値)	子ども参加者数/子どもの数(%) 34人/1976人	14.60	7.74	1.72
	親参加率 (算出式数値)	親の参加者数/子どもの数(%) 300人/1976人	13.75	5.06	1.51
効率指標	参加者一人当たりコスト (算出式数値)	総事業費/当日参加者数(円) 1,579千円/64人	2,980	3,166	24,671

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない 学校を通じて広報を行い、希望者の参加とした。	
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない 親子の絆を深め、他地域の人たちとの交流をはかることが出来た。 会場を清哲公民館で行ったため、参加人数に制限があったため、参加人数自体は下がっているが、ほぼ募集定員が参加し妥当な成果である。 夏と冬の2回開催を予定していたが、冬はインフルエンザの流行で中止した。	
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input type="checkbox"/> A 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input type="checkbox"/> C 効率的でない 実行委員会での検討により、募集方法や実施内容の充実を図るとともに、コストに見合う事業ができています。	
総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成	
今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化(コストを集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 手段の改善(実施主体や実施の手段を代える) <input type="checkbox"/> 効率化(結果単位あたりのコストを下げる) <input type="checkbox"/> 簡素化(事業の規模や内容を縮小する) <input type="checkbox"/> 統廃合(他の事業と統合する、または廃止する) <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり	
改善・改革案	改善・改革の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)	
	(1) 中長期的 実施主体、手段の改善を重ね、市全体を上げての青少年健全育成のための企画としたい。	(2) 23年度 22年度の取り組みを検証し、充実を図る。
	(3) 22年度 現行のとおり	
	21年度の改善計画 現行のとおり	
	21年度の改善結果 多くの親子が参加しやすいイベントとなるよう、内容や参加申込方法を改めた。	
市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること)		
・近年民間で親子を対象とした魅力あるイベントが数多くあるため、市独自の内容に取り組んだり、共催や後援での開催についても検討の余地がある。		
課長所見	親子ふれあい祭りは地域を越え多くの親子が参加して、大人と子どもが交流し、互いに尊重しあい情操教育が図られる場として期待される事業である。今後子ども等の意見を取り入れ、事業充実を図る。	